



HPはこちら



テーマ

SNS強化による販路拡大と労務・生産管理の効率化

DXチャレンジのきっかけ

農業の生産管理、福祉の事務、従業員の労務と5年ほど前から忙殺され悩んでいました。一度、自分で色々と調べ、県にも相談しましたが、要求しているところが特殊なところもあり汎用のツールでは対応が難しいとわかり断念しましたが、今年度、県からのDXサポートの案内があり、参加を決めました。

具体的な課題

01 Web集客導線の未整備

SNS活用が進まず、外部ECサイトに依存しているため、自社独自の顧客獲得やリピート化の仕組みが整っていない。

02 労務管理や生産計画・収穫予測の効率化

タイムカードの集計作業の軽減や、紙による栽培管理や記録をデータ化し、生産計画や収穫予測を行うためのデジタルツールの導入を検討。

伴走支援取組内容

01 SNS活用による認知拡大

InstagramやLINE特典の活用により顧客獲得する導線を設計するとともに、ECサイト購入へ繋げる仕組みを検討。

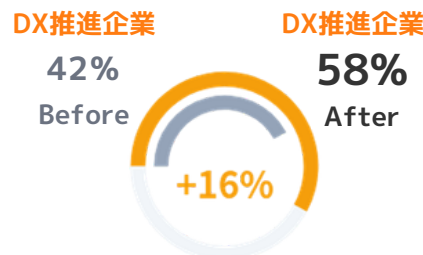
02 クラウドツール導入や栽培管理のデジタル化検討

打刻から給与計算まで一元管理できるクラウドツールや、栽培管理や気候管理のためのデジタルツール活用を検討。

得られる成果（未来予測）

- ✔ SNSの活用により認知拡大による **リピーターの創出**
- ✔ ツール導入による **労務管理工数削減と収穫ロス低減**

DX推進度の変化



~30%：DX準備企業 ~79%：DX推進企業 ~100%：DX先進企業

企業担当者の声

まずは、今の農業、福祉、その他の業務の困りごとやどうしたいかを整理していただき、そこにデジタルツールを用いて、改善できるところを明確にさせていただきました。全てをすぐに導入していけるものではないが、自動化への道筋が分かったことで、出来る範囲、実践していけると感じました。また、営業活動は自社の最も弱いポイントで、導入したLINE公式アカウントを含めた全体的な販売戦略を計画出来たところは成果でした。

今後DXにチャレンジする企業へのメッセージ

デジタルツールは多種多様だが、自社の業務内容には必ずしも合致するものは少なかったです。まずは課題の整理、どうしていきたいかを明確にすることで、汎用ツールを一部使うのか、費用をかけてオリジナルのツールをつくるのかなどの判断にとっても役立つことが分かりました。日々の業務に追われる中でも、まずは課題の整理が重要だと感じました。